

1. 件 名 : 「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング (36)」

2. 日 時 : 令和4年6月1日(水) 14時00分~14時50分

3. 場 所 : 原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

小澤安全規制調査官、石井企画調査官、中野上席安全審査官、羽場崎主任安全審査官、岸野主任安全審査官、野村主任安全審査官、田中管理官補佐、鈴木安全審査専門職、青木安全審査専門職、内海安全審査専門職、川村安全審査専門職、田口技術参与

リサイクル燃料貯蔵株式会社

貯蔵保全部 土木・建築GM 他5名

東京電力ホールディングス株式会社

原子燃料サイクル部 輸送技術対策担当

5. 自動文字起こし結果 : 別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。

参考

※ 令和4年5月30日「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の認可申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	あ、
0:00:04	えっと、
0:00:05	ただいまから、6月1日のRFSの設工認申請に関するヒアリングを始めます。初めに、申請者の側から出席者の説明をお願いいたします。
0:00:20	はい。東京事務所渡部でございます。
0:00:23	東京の出席者ですけれども、土木建築担当竹内以下、3名が東京から出席しております。
0:00:33	なおですね、東京電力さんから同じ会場から、
0:00:39	輸送技術担当の高橋さんが出席してございます。東京は以上です無駄をお願いします。
0:00:48	こちら別本社シライです。うちの所管は、
0:00:52	榎並土木組合GMと、私シライにメーカー出席しております。以上です。
0:01:07	規制庁のイシイですから三社こちらで発言してもよろしいですかね。
0:01:13	はい。よろしくをお願いいたします。はい、規制庁の石井です。本日、ヒアリングの趣旨としましては、5月30日付で提出していただいた資料に、
0:01:26	関するちょっと確認とですね、ちょっとこちらで想定していた前回のヒアリングの内容で、補足説明を求めた資料のうち、少し、
0:01:40	ちょっとこちらの考えと違う部分があるので、もう一度、適切にこちらで要求しているものをお伝えさせていただきたいなというふうに考えてます、RFがよろしいでしょうか。
0:01:54	はい。RIS東京だけ承知しました。はい。
0:02:00	規制庁ハバサキです。
0:02:03	5月30日付けですね、アレスの方から提出いただけてます、コメント回答をですね、
0:02:12	の資料をベースに、何点か確認とそれからあと、こちらからちょっとコメントさせていただきたい点があります。
0:02:24	で、資料としては、この30日付のコメント回答、それと、ベースとしては、この
0:02:34	今年の紙、4月7日付けで差し替え版という形で提出されてます。
0:02:39	使用済み燃料貯蔵所、建屋の耐震性に関する計算書ですね添付の計算書です。はい。耐震計算書、
0:02:47	それを手元に持ってます。それともう1点なんですけれども、第1回申請時に、同じ建屋のですね耐震性に関する補足説明資料というのを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:00	R F Sの方から、平成 22 年 8 月付で提出していると思いますが、
0:03:06	3 点をですねベースに、何、コメントをしていきたいと思っておりますが、まず資料の共通共有化というか R F S 側として、いずれもそれ、今例えば手元の方にあるとか或いはネットで見られる形にはなってるという理解でよろしいでしょうか。
0:03:27	リサイクル燃料貯蔵の寺山です。今おっしゃった資料の方、お手元の方に用意しております。
0:03:33	はい。はい規制庁浜崎です。それじゃちょっと内容について進めたいと思います。冒頭ですねイシイの話がありました。まして最適な資料の体裁的な話なんですけども、
0:03:45	5 月 30 日、20 日付けの資料に関してはこれ 26 日のヒアリング回答ということで、時間的なこともあってですね、非常に
0:03:57	情報量が少ないというふうにこちら印象を持っておりますで、最終的には、
0:04:02	先ほど言った 20、平成 22 年 8 月の補足説明資料のような内容をベースにですね、内容の拡充を最終的には最終、
0:04:13	補足説明資料として、準備の方を、
0:04:18	対応の方をお願いしたいと思っておりますが、そちらの対応はある普通方としては可能といたしますかよろしいでしょうか。
0:04:32	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。今おっしゃった内容承知いたしました。
0:04:38	はい。まだ最終、処分までで結構ですんですね、
0:04:45	補足説明資料というこ、位置付けですので、準備の方をお願いしたいと思います。
0:04:52	具体的な内容についてですねちょっと何点か確認しますまず 5 月 30 日付のですねページ 15 て 1 ページ目から行ってですね、
0:05:02	し、30 日付 1 ページ目の資料①のマトの応力比較の話なんですけれども、
0:05:10	新旧で各最大となる要素の応力状態が示されてます。数値が示されてますが、
0:05:23	ちょっとこれは細かい話なんですけれども、
0:05:29	等ですね、殊 834、
0:05:33	上段が 9、
0:05:35	甲 2D2103、今回工認で、
0:05:38	X 方向加力時の軸力の傾向がだけが違うわけです。
0:05:48	まず、認識としては、今回、
0:05:54	旧公認
0:05:55	からの変更としては、
0:05:57	基本的には地震動の違い。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:00	地震、
0:06:02	力が、地震動が大きくなって、地震力が大きくなったと、ということがメインというふうに考えてます。当然地震動、地震力が変われば、
0:06:14	地盤条件も変わるんですけども、
0:06:18	その地震力の違いがだけというふうにとらえてますので、それが大体概ね、建屋に対しては1割から2割程度の影響というふうに、
0:06:30	考えてますんで、今回、新旧でですね、9層厚の軸力が変わった要因について、もし今RFSの方で、
0:06:41	こういう原因だと思われるというような何か考察が考えられ、考えられているようであれば、説明をしてもらいたいんですが。
0:06:51	可能ですか。
0:06:54	はい。荒武でございます。今ご指摘の点については、ちょっと算定場所が変わっていますので、一概にですね、比例関係みたいな形で地震力になるかってことは、
0:07:10	ちょっとならないのかなというふうに思っています。それで、
0:07:13	具体的に上部構造、柱とか壁から来たものなのか、或いは場合によっちゃ杭から来たものかもしれませんしそこところは今ちょっと分析はできておりません。以上です。
0:07:24	はい。規制庁浜崎です。おっしゃる説明については理解します
0:07:29	ただ、全体傾向としてですね、曲げであったりせん断モーメント、ああせ、面外せん断については、概ね新旧の比較っていう観点では、
0:07:40	理解できるんですが、この軸力だけが、ちょっと傾向が引っ張りから圧縮になったりとかありますんで、竹内さんおっしゃるようですねその対象部位が変わってるということもあるんで、
0:07:52	こちら辺ですね、
0:07:55	冒頭申しました第1回補足説明資料では、マストの応力分布だとかも含めてですね、説明がされてますので、
0:08:07	ちょっとそういう観点で、説明の充実のほうを、この①に関して、との新旧比較については、整理してですね考察を、
0:08:17	を考えて、説明してもらいたいというふうに思っています。
0:08:21	あと、①に関して、①の1ページ目に関しては以上なんですけども、アーレスティの方としては受け取りとしてはどうでしょうか。
0:08:31	ちょっと50わかりましたので、以前の資料と同程度のものに、数字を差し替えながら統合して、資料を提出したいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:41	はい、区長浜崎です。はいお願いします。
0:08:47	それから次はですね2ページ目に関しては、これ前回のヒアリングで説明を求めた
0:08:58	等、最初熟慮腔はですね、比木
0:09:03	抜きの次の日、最初に2局でしたが、国の能力の比率がかなり違ってますけど、という話ですね今回と新規事業で、これに関しては
0:09:14	熟力が支配的で、もう面等が今回若干大きくなるんですけども、もともとのモーメントによる軸力が非常に小さかったから、
0:09:25	今回の増分が、また町、
0:09:28	大きくなってですね、要は分母と分子の関係分母がすごい小さかったから、一見こう大きくなったように見えると、今回の結果がですね。
0:09:39	そういうふうに我々、こちらは理解しましたので、2ページ目に関しては、この根拠について、説明されているというふうに思っていますが、
0:09:51	RFS側としては、今の理解で問題ないというふうに、
0:09:57	考えられてますでしょうか。ちょっと2ページ目の理由について、RFS間の見解を説明してもらえればと思いますが、よろしいですか。
0:10:07	はい。RSタケウチでございます。今おっしゃった通りだと考えております。以上です。
0:10:12	慶長浜崎です。ちょっとそういう観点でですね、これも30日付そういうわけで結果だけの話だったんで時間もないということですね。
0:10:22	今回よかったんですがそういった考察も含めて、資料の充実の方お願いしたいと思います。
0:10:27	引き続いて3ページ目です。これは支持力度のですね設定、許容限界所要荷重の設定の話を、
0:10:38	根拠をもう少し充実してくださいということで、
0:10:43	こちらからコメントした。
0:10:46	内容について、回答です。
0:10:50	結論的には、これ許可時といいますか建設Gと同等、同様の、同じ。
0:10:57	値を使っていますという説明かと思えます。
0:11:01	やはり資料としてですね、
0:11:06	先ほど来から言って第1回補足説明資料、
0:11:09	の、これは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:13	ちょっと通しのページがないので何とも言えないんですけども、
0:11:17	6の縦の中の1で、
0:11:22	コメント回答のところだと思うんですけどもかなり後ろの方なんですが、
0:11:29	ページが6の、ロボ筋の6の建築の件の10-2。
0:11:35	1、
0:11:38	コメントが国の許容支持力、引き抜き。
0:11:42	抵抗力の設定根拠を説明することっていう、
0:11:52	はい。はい。はい。いいですか規制庁です。
0:11:55	まさにこの、今回許容限界が変わってないという、いうことで、この資料の内容を、
0:12:02	当間裁定するなりですね見直すなりして、こういう内容についてですね説明をいただければと思ってますんで、
0:12:12	例えば今回いただいた資料のですね、これ、圧縮縁側しか出てないのかなともありますので、
0:12:22	仕組みのあと引き抜きが、
0:12:24	について、基本的には、第1回の補足説明資料のコメント回答の内容を
0:12:31	今回、試験を行ってますから、
0:12:36	行わない場合は不要ですけども、説明の方資料の拡充といえますか資料の作成の方をしてもらいたいと思ってます。
0:12:47	3ページに関してのこちらからの見解は以上ですけども、
0:12:52	RFS魔法よろしいでしょうか。
0:12:55	はい。田崎上地です。趣旨理解いたしました。ご出身に沿って、資料修正いたします以上です。
0:13:03	はい。
0:13:04	きちんと浜崎です。そしたら、次4ページ、これは地震応答解析を用いています。
0:13:11	国と地盤の場でですね地盤ばねの説明を
0:13:19	もう少し詳しくしてくださいということで、
0:13:21	4ページから、
0:13:25	4ページからですね。
0:13:27	12ページ、多分その内容、
0:13:31	というふうに、そちらでとってますが、
0:13:34	基本この4ページから12ページっていうのは、
0:13:37	14ページの右方にある、3月9日の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:41	はい、コメント回答を最低されているだけというふうに理解してまして、
0:13:46	ちょっと、我々これも内容をした上でコメントしてます。当然、これ知った上でさらに詳しく説明してくださいって言うてるんで、これはちょっと我々としては、
0:13:57	十分ではないというふうに思ってますんで、確かに運営係数は、
0:14:04	9 ページ目に示されて、なかなかそこは追加されてるんですけど、それ以外は共済系しかないというふうに受け取ってますんで、
0:14:12	これに関してもですね、ちょっと何点か確認したいんですけども。
0:14:26	ちょっとこれ確認なんですけれども、
0:14:36	4 月 7 日物件なんか出てますかね。
0:14:42	今年の 4 月 7 日に差し替え版ということで、添付の計算書を SAP 提出されてます。
0:14:49	その中でですね。
0:15:04	んな。
0:15:06	その中でまず今回のまず、今の説明、コメントですか。4 月 7 日付の添付の計算書は手元にありますが 96 ページ。
0:15:17	開いてもらいたいんですけども、
0:15:22	規制庁イシイです。資料ありますか。
0:15:25	少々お待ちください。
0:15:34	シライ。
0:15:35	むしろ、
0:15:40	修正したものかな。
0:15:43	違います。
0:15:44	4 月 7 日の、
0:15:48	確かな、
0:15:58	原因説明の中で、
0:16:02	添付 5-2-1、規制庁のイシイですけども、添付 5-2-1 っていう資料なんですけど、
0:16:11	どの
0:16:12	今後、
0:16:14	使用済み燃料貯蔵建屋の耐震性に関する計算書という資料。
0:16:22	点々添付書類のこと言って、
0:16:24	うん。
0:16:25	テンクレ。
0:16:27	店頭添付書類のこと言ってるんですか。そうです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:33	はい。
0:16:34	はい。
0:16:36	はい。はい、その 96 ページ。
0:16:41	90、
0:16:58	あ、それはいいですか。
0:17:00	今日、共有されてる感じですから、はい。今のページで 823、
0:17:12	規制庁浜崎です今映ってるページで結構です。
0:17:19	聞いた方がいいです。ここに、
0:17:22	地震を高崎で用いている地盤バリエについて説明があります。
0:17:29	まず、この地盤ばねですけれども、
0:17:34	具体的にどういうふうに求められたか。
0:17:37	説明はできますか。
0:17:42	実際あたりが次の 100、100 ページぐらいから出てくるんですけど、100 ページぐらいか 100 ページだけか。
0:17:50	出てくるんですけど、
0:17:52	この地盤までってどうやって算定算出されてますでしょうか。
0:17:58	ちょっと待って。
0:18:00	前言っというてもらってない。もうちょっとわからない。
0:18:05	どこだっけ。
0:18:08	次、はい。
0:18:11	どこだ。
0:18:27	93 ページ。
0:18:32	安倍武市です。はい。ちょっと今口で説明するほど単純じゃないような気もしてきました。はい。
0:18:39	どうぞ。
0:18:44	結局
0:18:47	水平等、回転のバネを、
0:18:51	普通なら、現象建屋なんかは、振動アドミッタンスとかいうものに求めるんですけども地盤の掘効果のほかに、
0:18:59	杭の効果を含めて、
0:19:02	その等価なばねを、
0:19:05	水平と回転について求めて、それに建屋の一次固有周期があった時の、
0:19:12	だからその建屋を 1 事故重機をあてるっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:17	いわゆる地盤単独でやるときの水平回転までの考え方と基本的には同じですけども、剛性として考えるものは、地盤と杭を込み込みの値で、
0:19:27	計算したときの値として出してるということですが、
0:19:30	それだけじゃちょっと絶対ならないかもしれませんが、以上です。はい、市長浜崎です。
0:19:37	えーっとですね
0:19:38	これ、確かに資料があっち行ったりこっち行ったりで、
0:19:42	若いんですけども、その
0:19:46	嘘。
0:19:47	第1回の補足説明資料の中にも、
0:19:50	その11番、
0:19:55	11番の項目、岩盤評価法の妥当性検証のところに、そのプロセスが書いてあるというふうに理解してます。だからまずおんなじ、基本は、
0:20:04	大体申請と全く、いや、同じやり方でやってますっていうことを言っていたいた。
0:20:10	いうのかな一緒にしたら、
0:20:12	違ったら違ったらちゃんと説明いただくことになるんで、
0:20:16	この11番の、
0:20:19	項目ビルというのはですね、伴宇井の点加振をして、
0:20:24	杭と加振をして、インピーダンスを求めて、そこにぐみ効果を考慮して、梅谷智として求めますと。
0:20:33	要はタグチとしてはまず、インピーダンス出してるわけですよ。4月以上の、
0:20:37	それ以降はさっき言った決算言われたような、いわゆるいい傾向で、1た区域があったところで減衰定数と、
0:20:47	今日は減衰定数を決めて、場合に関しては、成績をつけてますっていう話になると、いうふうに理解したんですがまず、
0:20:57	やり方としては第1回、の申請と同じやり方たで、あと、いや、やり方を変えないという理解でよろしいですよ。まず。
0:21:09	規制庁の石井です。一つすいません。ちょっと補足しておきますと今ハバサキさん、ハバサキの方で1台1回金貨平成22年、
0:21:20	もう一度すみません、平成22年8月、
0:21:27	平成22年木曾一修さんがおっしゃったことが、
0:21:31	狩野さんのおっしゃったことちょっと聞き取れなかったんですけどもハバサキの方で第1回というふうに発言あったんですけど、趣旨は、平成22年の8月の申請の時のっていうことです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:44	既認可の審査の承知しました。
0:21:47	はい、拝承しました。はい。その時の算定方法は変えてないと。
0:21:53	いう理解でまずいいですよ。
0:21:56	ハイアールタケウチですおっしゃる通りです。はい。ですんで、まず場面、地盤バネに対しても、資料の、
0:22:04	11番のところに、詳しく説明があるんですね。
0:22:09	基本的には、この内容を説明してもらいたい。今回もですねしてもらいたいということ、
0:22:17	ただ、地盤条件、地盤物性としては変わってくるので、その点も含めて今回説明してもらいたいというふうに、
0:22:25	思い思います。
0:22:29	まず趣旨ははい。あれしました。はい。
0:22:34	中出武智です。今、先ほど申し上げたように、平成22年8月の資料と、それから5月30日を出した資料統合してお出ししますので、その段階で、
0:22:45	に、平成22年8月に書いてあった内容も盛り込んで、はい。合本精度を出しますので、その中に組み入れたいと思います以上です。はいちやうです。
0:22:56	で、ちょっとそん時に確認なんですけども、
0:22:59	今出ている資料の100ページの近江。
0:23:03	示していただけますか。
0:23:07	そうですね。
0:23:12	ちょっと声かけてますけど一番上の表現も救急でも、中でもいいんですけども、
0:23:17	表土Qの値がですね、
0:23:20	これ昔の値と変わってないように思うんですけども、
0:23:26	要は次、先ほど来地震動が変わって地盤が変わってたら、
0:23:32	この値バレッジって変わるはずじゃないんですかということを確認、聞きたいんですが。
0:23:43	これ制定して、
0:23:45	SBO金川俣SSですか。
0:23:49	品だと、これ、一緒じゃないですか。ちょっとこちらの資料が違ってるのかもしれないですけど。
0:23:56	まずですね多分段階は3段階あると思いますので、450の地震動を使っていた段階と、それから今回の補正をする前の段階、はい。
0:24:09	のS _s -D、B案かに対する値それから今回補正したときのS _s -N多分3種類ありますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:19	今回補正する前のS _s -D湾に対応する値は変わらない簡易で450の地震動を使ってたときの値が幾つになってたかちょっと今、
0:24:30	すぐに確認できませんので、それは確認して正しい値を入れて、資料提出お出ししたいと思います。以上です。
0:24:37	はい、規制庁浜崎です今のその比較表の形になるのかなばねの、要は、地盤物性が変わります、バネも変わっていますっていうならばそれはきちんとちょっと示してもらいたいと思います
0:24:50	これ、
0:24:52	先ほどの
0:24:54	類から運用効果を考慮するっていう観点、算定のばねって、当然これ物性値が変われば、地盤の物性値が変われば変わるでいいんですよ。
0:25:07	はい安倍避けてそのはずだと思いますねはい。ちょっと、その点確認をしたいと思ってます
0:25:15	やはりここ、このそれぞれの数値の妥当性の観点ではですねやはり国のバネーなんで、
0:25:24	例えば炉の先行炉と比較しても、なかなかわかりづらいところがあるんで、今回、同じ条件で、
0:25:33	地盤地震力部、地盤物性値だけが変わった条件での比較をしてもらえれば、この数値の妥当性というのが我々としては判断できると、いうことですので、
0:25:46	そういう観点でちょっと整理の方してもらいたいと思います。
0:25:53	はい、安倍阪口です。450の地震動の時と今回と比較してお示しするようにしたいと思います以上です。
0:26:01	規制庁ハバサキです1点だけちょっと今、今そのタケウチさんが3段階でやられている。
0:26:09	おっしゃったかなと思っててその450とは変わってるけど、真ん中の団体等は、
0:26:16	ばねは変わってないっていうふうにさっきちらっと聞こえたんですけども、そういう理解でいいですか。
0:26:23	RSタケウチです。地震動自体は、S _s -AとS _s -Dは変わっておりませんので、ばねの値も変わってないと思います。市長わかりました
0:26:33	おっしゃるように、地震動が変わってなかったら地盤物性変わらないし、バネも変わらないっていうんですけど。
0:26:40	地震動が変わってもお金が当たりが変わらないっていうのはおかしいと思ってますので、ちょっとその点、説明の資料をですね準備いただいて説明してもらいたいと思います。
0:26:53	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:56	バネが変わっているかいないかの数値も含めて比較をした上で、なぜそうなっているのかを説明をしたいと思います以上です。はい、規制庁浜崎です。
0:27:07	あと、
0:27:11	30日付のコメント回答の資料に関してですね先ほどから4ページから12ページ。
0:27:19	応答解析に用いる地盤までの話について今、今までやってきましたけれども、
0:27:26	薄層との比較だとか発想要素を使った、地盤ばねによる応答100とか、
0:27:37	これは
0:27:39	今までも説明いただいているというふうに思っていますので、つけて、
0:27:43	いただくといえますか、整理しておいていただければというだけです。それに対して新たなコメントといえますか、指摘は確認はありません。
0:27:59	それで、
0:28:13	北原技術、そしたら、13ページから、
0:28:20	30日付のコメント回答の資料、13ページからになります。
0:28:25	13ページからはこれは杭の応力算定時のバネーのお考え方について説明をしてくださいということでその場イトウなんですけれども、
0:28:37	これについても、すでにある情報以上のものが基本的に我々としては、理解できないところもあります。
0:28:48	まずですね
0:28:56	13ページの上のズーですね今入れてますで、
0:29:02	国の側面地盤でここは今、
0:29:06	表層地盤として一応にしてるんですか
0:29:12	清掃税を指定医長にしてるんでしょうかそれとも、確か福井区長分僕医長分で3蘇武に分かれてると思うんですけども、地層が、
0:29:25	扱いとしてはどういうふうになってます。はい。
0:29:29	あるタケウチです。
0:29:31	地盤の地震応答解析のときのあの地震は十勝のSHAKEの地盤モデルをベースに、このバネを層ごとに分けて算定をしています。以上です。
0:29:44	規制庁浜崎です。そうすると今映ってるズーで、
0:29:50	国井のその深津方向に、
0:29:52	一応、3層に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:55	三つの層に分かれている、イシイターン 2000 のところですけど、
0:30:01	それではねを算定されているということですか。
0:30:08	三つじゃないよな。ないですね。仕事解析のところ、あれ出るモデル。
0:30:22	その当初の地震応答解析のところになんか地盤モデル出てるよな、
0:30:29	麻生ありがとうございます。はい。
0:30:34	もうちょっと下が上からちょっと。
0:30:36	地盤の。
0:30:39	池杉田かなあ。
0:30:44	もうちょっと前じゃねえか、地盤だから建屋の前だな。
0:30:48	あそこ 0 ですね。
0:30:50	今、10、16 円。
0:30:55	プレセンダーバイアス 21.5 円。
0:30:58	だから今
0:31:00	そうですね、21.5 円だから、
0:31:04	国側、
0:31:07	入ってるところって 3 層ですよな。
0:31:11	そうずっと、
0:31:14	ばかり来たっけ。
0:31:20	という意味で私担当って言ったんですけども、三つ残っていた
0:31:24	はい。
0:31:26	地震特別の命令は、今話じゃなくて、
0:31:34	それだよな。
0:31:36	全然なかった。
0:31:38	もうちょっとサブリーダー割ってるかもしれないしな。うん。
0:31:41	綾部サブリーダーと話をしてるわけ。
0:31:45	はい。サブレような話をしてるわけじゃないけど関の話してるんじゃないかって、
0:31:51	アース申し訳ないちょっと内々の話が聞こえてしまって申し訳ありません。
0:31:56	だから、
0:32:00	今、基本としてるのは、この地盤モデルであって、地震をと解析モデルを組んで、
0:32:07	地表までの地盤の応答を出していますけれども、それをどう杭をバネに反映してるのかっていうのは、今この資料だけでわかりませんので、はい。その点を整理した上でこの資料に付け加えて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	お出しをしたいと思います。以上です。はい、規制庁浜崎です。資料として、
0:32:26	用意をしてください。私が規制庁ハバサキ私が確認したかったのはですね、
0:32:33	杭の応力を算定する際の地盤からの変位、
0:32:38	今回応答変位でやってます地盤からの変位に対して10ページに結果が出てるんですけども、
0:32:45	これが非常に綺麗な福井先端を基準とした変形分布になってますね。
0:32:55	て想定を考えたら、もう少しでこぼこするのかなあというのが一つと。
0:33:03	もう一つは、8ページ。
0:33:07	同じ資料8ページ見てもらいますと、
0:33:10	農業効果を考慮した地盤までの時には、国の側面は、
0:33:16	布施杉折損補正しますって書いてありますよね予想時間。
0:33:20	そして一つの
0:33:24	はい。ではこの前提で、協力策定する時の石破でも判定されているのか。
0:33:33	搬送でやって、地層の区分を考えて算定されてるのか、その説明がないですねっていうところです。どっちが間違ってるとか、
0:33:45	何か議員あるとかじゃなくて、実際どういうやり方をやってるんですかっていうことをお聞きしていきたいんですけど。
0:33:54	ちょっとIRSだけじゃちょっと今手元に資料がなくて正確なことをご説明できないのでは、まず一つは、地盤ばねを求めるときに、どっからどこまでの層を一つの層としてみなして、その水平、
0:34:07	成層補正かなんかをしているかということと、
0:34:11	それから変位を求めるときの地盤応答解析モデルが滑らかだということについては、
0:34:16	これおそらく、何ですかね、
0:34:20	地盤の物性のほかに、
0:34:24	少し細かく割ってる可能性があるんで、そのときの考え方のどこをどう読むかっていうのを、別途整理したいと思います。以上です。
0:34:34	はい。規制庁浜崎ですそうですねどうぞ。
0:34:38	例えば今最後に言われた16ページの、
0:34:42	相対変位の分布はどうやって算定しましたかっていうのをもう少し具体的な説明をしてもらえればわかると思います。
0:34:51	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:54	阿比留武石です。承知しました以上です。はい。
0:34:57	規制庁ハバサキです。
0:35:01	それで、
0:35:15	少々、
0:35:18	規制庁浜崎です。もうあといくつかなんですけども、何点かで終わりますけれども、
0:35:26	先ほどの資料、今の映ってる資料の13ページ目に戻っていただいてよろしいでしょうか。
0:35:35	はい。はい。そこです。
0:35:37	そこで、文章のところの最後の2行目の後半のところですね、モデルの水平ばねは1式で算定してますよと。
0:35:49	地盤までの非線形性は、勝野宗曲線モデルを使いますよということで、これは、
0:35:55	先週、実のヒアリングの際に、
0:36:01	杭及び地盤ばねには非線形性を考慮するというのが、
0:36:06	耐震計算書、添付の計算書の方に記載があるので、この支援形成ウというのは、
0:36:13	具体的にはどういう非線形性を考えられてるんですかって言うし、こちらからのコメントに対する回答というふうに、
0:36:22	読みましたが、この総曲線モデル、
0:36:26	ていうのは、
0:36:28	まず何の、
0:36:30	非線形性ですか
0:36:35	計算書上は、杭及び地盤ばねによる非線形性をというの、
0:36:40	杭杭と地盤バネー。
0:36:43	別々の話なのか要は杭体を非線形にしてるのか。
0:36:47	或いは、
0:36:48	杭を考慮した地盤ばねの話なのかちょっと意味を理解ができないんで、
0:36:54	この双極性モデルの非線形性は何の、
0:36:57	地盤まで、
0:36:59	ら辺の話ですか。
0:37:02	竹内足達武石です。ここでは、地盤が非常に非線形に入った時のことまで言及をしていますけれども、実態の計算としてはそこまで点検に入っていないので、はい。
0:37:16	理屈な話と、それから実際に我々も計算している、ひずみレベルの話をおそらく分けて、詳しくここに書き込みたいと思います。おそらく線形は使ってないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:28	記憶してますけど正確なところは確認をしてお答えしたいと思います。以上です。はい。市長浜崎潔、はい。説明をお願いします。今の和智栗田についても、
0:37:40	一瞬県は考慮してない。
0:37:42	ですね。
0:37:46	ちょっともう一度、新しいことを確認いたしますけれどもそこまでの日変位は、応力のレベルから考えて入ってないと思います。はい。市長。はい
0:37:55	事業の方では、1900戸でしたけども、結果的には弾性範囲に収まったとかそういう話になるかというふうに思いますので、その説明の方、拡充の方をお願いしたいと思います。
0:38:10	あと次にですね今映ってるページの次のページ、14ページをちょっと、
0:38:17	はい。
0:38:18	14ページこれ新たな情報だというふうに受け取ったんですが、これは何を説明されてるんでしょうか先端地盤ばね、
0:38:33	あれ。
0:38:40	演習場での話ですか。うん。
0:38:43	はい、阿部竹内です。13ページでご説明してるのは、
0:38:49	地盤を輪切りにしたときの、
0:38:53	実行方法といいます閉方向の話をしてます。はい。
0:38:58	14ページは、はい。上下方向に配置がせん断変形する効果を見込むときのばねの話をしております。以上です。はい。はい。
0:39:10	そうそうそうそうだろうとは思いますが、ちょっと13ページから14ページにかけてですね。
0:39:17	そこちょっともう少し丁寧な説明の方をしてください。
0:39:22	はい。お願いします。
0:39:24	すいません最後んとこよく聞き取れなかったと申し訳ありません、13ページ、7ページから14ページにかけて、
0:39:30	丁寧な説明をしてください。
0:39:35	はい、承知しました。
0:39:41	はい。規制庁ハバサキです
0:39:45	一応ですね、
0:39:49	コメント開口資料自体に対する確認という点では、以上になります。
0:40:01	一つは、ちょっと最後、ごめんなさい、16ページ、さっき、これ立石さんも言われたように、16ページの結果が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:10	例えばCCFの結果そのものなのか或いは何かこう、そこにもう一つなかったものなのかについての説明の方もお願いします。
0:40:25	あれ昨日です。A層の切り方、それから表示の仕方も含めてわかるように補足をいたします以上です。
0:40:35	はい。俵部長お願いします。
0:40:38	としてたわけです。私の方からはいいんですか。岸野さん。
0:40:45	特にないですか。さっきの理事、佐伯。
0:40:53	金野はい。はい。
0:40:57	わかりました。ちょっと私の方が言っちゃいましょう。
0:41:07	規制庁イシイで少しお待ちください。
0:41:11	はい。
0:41:18	あれ、本設置工事。
0:41:21	そうです。それで、今日の資料3ページ、今日の資料は3ページで、
0:41:27	もともとの資料が、それに合わせてくださいっていう。
0:41:49	2、
0:41:57	規制庁ハバサキですすみませんお待たせしました
0:42:02	今日の資料ですと3ページのところです、宇井脚煙による、
0:42:07	病原体の求め方のところの内容について、
0:42:12	これ最初の今日の最初の方に言いましたけれども、平成22年の補足説明資料の内容に、
0:42:22	基本的には準じた形での資料の準備をしてくださいということを言いましたが、
0:42:27	この平成22年の補足説明資料についてもですねちょっと情報がないので、追加で説明をしてもらいたいの、
0:42:37	この雑賀試験の位置ですね、国の再試験の1、先日のヒアリングでは、
0:42:45	例えばちょっと1ヶ所だけっていう話をされてたと思いますが、
0:42:52	文中でもいいんですけど、ちょっとその平面図に対して、この位置で耐火試験をやりましたっていう位置も、説明の方、追加をしてもらいたいと思っておりますが、
0:43:06	それは可能でしょうか。
0:43:16	すみませんR I S東京武智でございます。規制庁さんの音声はこちら届いておりませんが、
0:43:24	規制だね。
0:43:26	規制庁ハバサキです聞こえませんか。
0:43:30	が聞こえます。
0:43:34	えっと先ほどお話のあったのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:37	区伊能雑賀試験の実施位置がっていうところまでなんですけどそれ以上のコメントあればお願いしたいと思うんです。規制庁ハバサキです杭の最大値の実施位置についても、
0:43:50	追加で、資料提示の方をお願いします。
0:43:55	はい、承知しました。
0:43:57	はい。規制庁浜崎です。よろしくお願いします。
0:44:03	規制庁原田技術、私の方からは以上になります。
0:44:08	規制庁の石井ですけど、武市さん何を準備しなきゃいけないかメモ取れてると思うんですけども確認はしなくて大丈夫ですか。
0:44:19	私どもとっておりますんで、大丈夫だと思います。もし、確認しておいた方がよければですが、いかがですか。
0:44:31	ありますか。
0:44:36	最初から、はい。
0:44:38	まず1ページ目で、
0:44:42	5月30日の資料の1ページ目で、
0:44:45	マットの応力について、
0:44:48	軸力がなぜこう変動したのかってことについて考察をつけること。
0:44:54	それから、
0:44:57	2ページ目のところで、杭の応力の内訳について、
0:45:01	常時の、上部からの軸力に加えて、
0:45:09	転倒モーメントによる変動の応力の軸力の土が加わることによって、
0:45:16	見かけ上大きく変動しているように見えるけれども、実際はこういうことだということを、考察として付け加えること。
0:45:25	それから3ページ目で類の、
0:45:29	影響限界のを、
0:45:35	内容については平成22年8月、
0:45:40	コメント回答shallと補足説明資料について、そこに書いてある内容を、
0:45:46	付け加えてな記載を充実すること。
0:45:50	それから、
0:45:51	杭の試験の災禍試験をやった位置について記載をすること。
0:45:57	それから、4ページ5ページのところでは、
0:46:02	地盤ばねの値について、
0:46:06	以前の地震動の450ガルの時と今回の600の時について、
0:46:12	地盤物性が変わっているから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:15	地盤ばねが変わっているってことを比較な形で示すこと。
0:46:20	それから、
0:46:26	13 ページのところで、特異の
0:46:30	応力算定モデルのところで、
0:46:36	坂、下側の図で、地盤の非線形性を考慮するということがあるけれども実際に、今回使う値についてその非線形のところまで至っているのか至ってないのか。
0:46:48	それから考え方としては地盤が非線形になったときでも対応が可能であるということに分けて記載すること。
0:46:56	それから 14 ページに繋がるところで、地盤のせん断ばねについて、前の文章と繋がりが悪いので、どうなっているのかということをお案を。
0:47:05	記載すること。それから、
0:47:08	16 ページのところで、地盤の変位が出ていますけれども、
0:47:13	これを求めた、総割りとか考え方表示の仕方について記載することと、
0:47:20	これに関連して、さっきの順番だけ。
0:47:26	3 ページ。
0:47:34	これから 13 ページのところの地盤ばねの、
0:47:38	これ先ほどのものに関して地盤ばねの相場についても、どことどこを、一括して総割りをしているのかということをお明記することと、
0:47:47	ということをお付け加えた上で、
0:47:50	平成 22 年 8 月の
0:47:53	補足説明資料と合本をして、内容をまとめて提出するというおことだとお理解いたしました以上です。
0:48:01	はい。浜崎です概ねお理解いただいたというふうにおこちらもお理解しました。1 点だけちょっと 4 ページから 5 ページのお話。
0:48:11	地震応答解析でも聞いている地震基盤バリエについても、
0:48:16	平成 22 年の補足説明資料の、
0:48:21	11 番の項目。
0:48:25	に、
0:48:26	ばねの算出方法等がまとめられているので、この資料に準じた形で資料の方、
0:48:33	まとめて、
0:48:34	説明をしてください。
0:48:37	ということおです。I R S タケウチおです。
0:48:40	はい、阿部佐口おです。平成 22 年 8 月の資料をお下敷きにして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をおそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:46	5月30日の内容を盛り込んで視察にまとめますので、そのような形で取りまとめて、取りまとめたと思います。以上です。
0:48:54	はい。市長市長浜崎です。
0:48:56	はいお願いします。
0:48:57	以上です。
0:49:00	規制庁の石井ですありがとうございます。
0:49:03	本庁の会議室からは、今以上になります。よろしいですか。
0:49:09	以上になりますが他に何か確認したいことがあればと思いますが、
0:49:36	他よろしいですか。
0:49:44	なければ川村さんの方で、最後、
0:49:51	はい、規制庁仲村です。
0:49:54	衛藤。
0:49:56	他に、
0:49:58	本日の議題に関してなければ、
0:50:00	これで本日のヒアリングは終わりにしたいと思いますけど。
0:50:05	よろしいでしょうか。
0:50:09	本庁側の会議室はわかりません。
0:50:13	はい。では本日のヒアリングについては以上で終わりたいと思います。ありがとうございます。
0:50:20	ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。